第二講　グループ分け＋言いかえの連続に注目

その１　《評論》　テーマ「身体の哲学」

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

なにか少年や少女の事件が起こるたびに、こころのケアやこころの教育がどうのといった声があがるが、わたしはすぐにはそういう発想がとれない。ちょっと乱暴かもしれないが、お箸をちゃんともてる、肘をついて食べない、顔をまっすぐに見て話す、脱いだ靴を揃えるなどということができていれば、あまり心配はないのではないかと思ってしまう。あまのじゃくなわけではないが、とりあえず、ごはんはかならずいっしょに食べるようにしたら、と言ってみたくなる。なにか身体が憶えた智恵や想像力、身体で学んだ判断を信じたいと思うのだ。

瀬戸内寂聴さんは、ある地方新聞に載った「躾はあって当然」という文章のなかで、こんなふうに書いていらっしゃった。

「私の父親は小学四年しか学歴のない職人だった。四、五歳の私が仕事場を通る時、つい道具のカンナやノミをまたいだら、だまってかね尺（金属製のものさし）が飛んできて私の脚を払った。そうされて私は父の仕事は立派なものなのだなと思った」

からだで憶える規範や原理が確実にある、そんな時代があったのだ。いま、わたしたちのまわりでは世代の交替ということがうまくなりたたなくなっている。少なくとももものの考えや感受性において世代差というのが見えにくくなった。いや、それよりも世代という観念じたいがうまくなりたたなくなったと言ったほうがいいかもしれない。現にわたし自身が世代などというものをあまり信じていない。

文化には、ひとの生を象る型というものがある。生に形をあたえる型というものがかならずあるはずだった。若いときの反撥や抵抗も、たいていはこの生の社会的な型に対してなされてきた。が、そういう型がいまはとても見えにくく、感じにくくなっているような気がする。生の基本、生のベーシックスにかぎって、こんなこと言わなくても分かると思ってたことが、じっさいには他人に伝わりにくくなっているような感触がある。

（鷲田清一「悲鳴をあげる身体」プロローグ）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問１　次の語群について、筆者が肯定的に使っている表現にはＡ、そうではない表現にはＢと記しなさい。

①　こころのケアやこころの教育
②　身体が憶えた智恵や想像力
③　からだで憶える規範や原理
④　顔をまっすぐに見て話すこと
⑤　生に形をあたえる型

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　その1　知識モノ解説

文学史・人物解説

●筆者　鷲田清一＝わしだ　きよかず（一九四九〜）京都府生まれ。京都大学文学部卒、同大学院博士課程修了。前大阪大学学長。日本を代表する哲学者。朝日新聞朝刊の連載「折々のことば」の筆者。

○瀬戸内寂聴＝せとうち　じゃくちょう（一九二二〜）徳島県生まれ。東京女子大学国語専攻卒。作家、僧侶。

語句

あまのじゃく＝天の邪鬼↓ひねくれもの。人の意見や忠告に従わないこと

躾＝しつけ↓礼儀作法を身に付けさせること

規範＝きはん↓ルール。守るべきもの。判断や行為の基準となるもの

観念＝かんねん↓考え方・発想

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　グループ分け＋言いかえの連続に注目

その2　《評論》　テーマ「服の文化」

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

服装というものは、人間の社会生活のなかでもっとも単純、明快で、しかもしばしば忘れられがちなコミュニケイションの媒(ばい)体(たい)である。じぶんが誰であるかをみずから表現し、同時に他人につたえるために、身につけている衣服はきわめて有効な手段なのだ。ことばをつかって、人間どうしがなにかをつたえあうというのは、コミュニケイションの方法として一般的だけれども、A<u>ことばだけが意志をつたえあう媒体なのではない</u>。ある人間が身につけているものをみて、その人間が何者であるかが［B］にわかるとすれば、衣服はその人間の社会的な位置づけを無言のうちに語る媒体なのである。卑近(ひきん)な例でいうなら、ホテルその他のサービス業の場合、お客の服装をじろりと一べつするだけでそのお客のC<u>氏素姓</u>がわからなければ一人まえでないという。服装は、それじたいなにかを「語る」のだ。

まず、基本的には服装は［D］を語る。西洋で、男がズボン、女がスカート、というのは、中世のゲルマン民族にはじまったものといわれるが、着ているもので男か女かがわかる。そしてルネッサンス期をむかえると、男はますますその男らしさを、女は女らしさを服装によって語らせることをかんがえはじめた。性の強調によって、男と女の服装は、ぐんときわだってちがいのあるものになった。ギリシャ、ローマ時代の風俗では、男女の服装の差があまりなかったのと、それは対照(たいしょう)的である。

しかし、近世以後の社会では、服装はしばしばそれを着ている人間の［E］を語った。それがいちばんはっきりと制度化されたのは軍服である。どこの国でも、軍人というのは戦場でたたかうことをその職業としており、そこでは敵味方の区別をつける必要があり、さらに味方どうしの内部でも上官、兵卒(へいそつ)の区別がつかなければならない。着ているものがはっきり見わけがついてはじめて戦闘もできるし、軍隊の統制もとれる。みんながかってな服装をしていたら、戦争なんかできっこないではないか。

（加藤秀俊(かとうひでとし)の文による）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問１　傍線部Ａに見合う成語として最適なものを次より選べ。

①　目は口ほどに物をいう　②　壁に耳あり障子（しょうじ）に目あり　③　人の噂（うわさ）も七十五日　④　死人に口なし

⑤　顔で笑って心で泣いて　⑥　沈黙は金　⑦　言葉多きは品（しな）少なし

問２　空欄［Ｂ］に最適な語句を次より選べ。

①　一瀉千里（いっしゃせんり）　②　簡単明瞭（かんたんめいりょう）　③　一目瞭然（いちもくりょうぜん）　④　以心伝心（いしんでんしん）　⑤　一視同仁（いっしどうじん）

問３　傍線部Ｃの漢字の読みを平仮名（現代仮名遣い）で記せ。

問４　空欄［Ｄ］・［Ｅ］に最適な語句を次より選べ。

①　時代　②　職業　③　民族　④　性別　⑤　権力　⑥　地位

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　その2　知識モノ解説

文学史・人物解説

●筆者　加藤秀俊＝かとう　ひでとし（一九三〇〜）東京都生まれ。一橋大学卒。社会学者、メディア論研究者。

語句

媒体＝ばいたい→伝達の手段。仲介になるもの。メディア
卑近＝ひきん→身近でわかりやすいこと
一べつ＝一瞥＝いちべつ→ちらっと見ること
風俗＝ふうぞく→ある時代や社会の生活習慣や習わし
対照的＝たいしょうてき→違いがあること。対比的。コントラスト
兵卒＝へいそつ→最下級の軍人
統制＝とうせい→まとめること。制限しつつコントロールすること

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二講

次の傍線部にあたる漢字を、次の選択肢から選びなさい。

（ア）私は決めつけたような発ソウをしません。　①総　②相　③創　④想　⑤送

（イ）身体で憶えたハン断を大切にする。　①反　②半　③判　④犯　⑤飯

（ウ）社会には守るべき規ハンがある。　①犯　②範　③藩　④版　⑤凡

（エ）社会の決まった枠組みにテイ抗する。　①低　②停　③邸　④底　⑤抵

（オ）時代が変化したという感ショクがある。　①触　②職　③植　④色　⑤拭

（カ）服装は単ジュン、明快にその人物を語る。　①順　②準　③潤　④純　⑤巡

（キ）服装はコミュニケーションのバイ体である。　①倍　②媒　③賠　④謀　⑤某

（ク）時代や地域によって風ゾクや習慣は変わる。　①属　②続　③族　④足　⑤俗

（ケ）日本文化と欧米文化はこの点で対ショウ的だ。　①称　②象　③照　④焦　⑤症

（コ）命令をはっきりさせて軍隊のトウ制をとる。　①党　②頭　③棟　④東　⑤統

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　グループ分け＋言いかえの連続に注目

その１　《評論》　テーマ「身体の哲学」

《本文の対比構造》

主役＝筆者の見解

身体が憶えた智恵や想像力
身体で学んだ判断
からだで憶える規範や原理
生の社会的な型
生の基本、生のベーシックス
瀬戸内寂聴「躾は当然」

主な対比

比較相手＝一般論

こころのケア・こころの教育

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

《解説》

問１《内容理解・選択肢》

少年や少女の事件の際、「こころのケア」「こころの教育」を訴えるのは、筆者の意見ではなく一般論です。『悲鳴をあげる身体』というタイトルからもうかがえるように、からだ・身体の声に注目することのほうが重要と、筆者は考えているようです。つまり、「こころ」に問題があったからなにか事件を起こしたというより、「からだ」レベルの問題ではないかと言いたいわけです。「からだ」レベルの具体例として「お箸をちゃんともてる、肘をついて食べない、顔をまっすぐに見て話す、脱いだ靴を揃える」、「とりあえず、ごはんはかならずいっしょに食べる」こと、また瀬戸内寂聴さんの幼少期の「躾」の体験などを挙げています。

したがって、①「こころのケアやこころの教育」はＢ、②「身体が憶えた智恵や想像力」③「からだで憶える規範や原理」④「顔をまっすぐに見て話すこと」はＡです。

また「お箸をちゃんともてる」などの例にみられるような型・形について「文化には、ひとの生を象る型というものがある。生に形をあたえる型というものがかならずあるはずだった」と好意的に表現しています。したがって、⑤「生に形をあたえる型」はＡ。筆者は、現代ではそうした型が通用しなくなっているという点に危機感を感じているようです。

模範解答

問１　①＝Ｂ　②＝Ａ　③＝Ａ　④＝Ａ　⑤＝Ａ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　グループ分け＋言いかえの連続に注目

その２《評論》テーマ「服の文化」

《本文の対比構造》

主役＝筆者の見解

服装＝コミュニケイションの媒体

社会的位置づけを語る
氏素性を語る
性別を語る
職業を語る

主な対比

比較相手＝一般論

ことばをつかったコミュニケイション

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

《解説》

ふつう、何かを伝えるコミュニケーションというと「ことば」を思い浮かべがちだが、服装もコミュニケーションの媒体、手段だというのが筆者の見解で、もうすでに対比が含まれています。

問１《内容理解・語彙力・選択肢》

おしゃべりによる意思疎通を〝オーラル・コミュニケーション〟とすれば、服装で自分は何者かを伝えたり了解したりする意思疎通は、〝ビジュアル・コミュニケーション〟と言えます。目で見て伝達ということです。これに一番近いのは、①の「目は口ほどに物をいう」です。正確には、ことばに出さなくても、目つきや目の表情で言いたいことがわかるという意味です。意味の受け取り手も耳で聞いたのではなく、目で見ているわけですから、これが正解です。

他のものを解説します。「壁に耳あり障子に目あり」は、どこでだれが聞いているか見ているかわからないという意味です。ひそひそ密談してもばれるぞという警告です。「人の噂も七十五日」は、人のうわさ話も長くは続かない、しばらくすれば消えるものという意味です。今日のネット言論で傷ついている人のなぐさめになるかな。「死人に口なし」は、あの世に行った死者はもう何も語れないため、この世に影響する証言などはできないという意味。「顔で笑って心で泣いて」は、表面上はにこやかにとりつくろっても、本当は悲しんでいるということ。切(せつ)ないね。「沈黙は金」は、本来「沈黙は金、雄弁は銀」というセットです。説得力ある雄弁は重要だけれども、だまるときを知ることはもっと重要だという意味です。「言葉多きは品少なし」は、そのままの意味ですね。品(しな)とは、人が本来もっているよい性質、品位(ひんい)・品格(ひんかく)のことです。似たものに「巧言令色(こうげんれいしょく)、鮮(すくな)し仁(じん)」があります。うわべだけ飾った言葉づかいで、ぺこぺこする者には、心や誠意がないということです。

問２《空欄補充・語彙力・選択肢》

空欄直後に言いかえた例があります。「ホテルその他のサービス業の場合、お客の服装をじろりと一べつするだけでそのお客の氏素姓がわからなければ一人まえでない」。これがヒントであり根拠です。とくに「じろりと一べつするだけで」が最大のヒントで、③の「一目瞭然」と決まります。ひと目見ただけではっきりわかるという意味ですから。②の「簡単明瞭」と迷ったかもしれません。例のなかに「一人まえ」という表現があり、だれでもが「簡単」にできるというわけではありません。サービス

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

業の経験を積み重ねて、一日瞭然にお客さんの人となりをつかめてやっと「一人まえ」なのです。
他のものを解説します。「一瀉千里」は、物事や文章がいっきに進むこと、はかどることです。「以心伝心」は、言葉によらずに気持ちが通じあうことです。「一視同仁」は、等しく平等に愛情をそそぐことです。

問３《語彙力》
「氏素姓」は「氏素性」とも書き、読みは「うじすじょう」。生まれ育ち、家柄、社会的地位などを指します。

問４《空欄補充・選択肢》
D　空欄直後に具体例があり、空欄を言いかえています。「～男がズボン、女がスカート～着ているもので男か女かがわかる。～男はますますその男らしさを、女は女らしさを服装によって語らせる～性の強調～男と女の服装は、ぐんときわだってちがいのあるものになった」とありますから、④の「性別」です。①「時代」や③「民族」とした人がいるかもしれませんが、それらは、よりいっそう細かい例の一部を指しているだけです。
E　こちらも空欄直後に具体例があり、空欄を言いかえています。「それがいちばんはっきりと制度化されたのは軍服である。どこの国でも、軍人というのは戦場でたたかうことをその職業としており」が根拠で②の「職業」と決まります。⑥の「地位」と答えた人がいるかもしれません。でもそれは「敵味方の区別」「上官、兵卒の区別」などよりいっそう細かい例の一部を指しているだけです。

模範解答
問１＝①　問２＝③　問３＝うじすじょう　問４　D＝④　E＝②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二講　模範解答

（ア）④　（イ）③　（ウ）②　（エ）⑤　（オ）①
（カ）④　（キ）②　（ク）⑤　（ケ）③　（コ）⑤

解答漢字一覧

（ア）発想　（イ）判断　（ウ）規範　（エ）抵抗　（オ）感触
（カ）単純　（キ）媒体　（ク）風俗　（ケ）対照　（コ）統制

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。